

清流

特定非営利活動法人 杉並区保護観察協会会報

第7号

発行 2020年4月7日

発行責任者 青山 亨

編集 特定非営利活動法人
杉並区保護観察協会

ご挨拶

会長 青山 亨

日頃より当会運営に際しご協力ご助言をいただき衷心より感謝申し申し上げます。年号も昨年令和となり、当会も発足60周年を迎えました。5月には記念式典を予定しております。

これからは新時代に対応すべく発想力のある、更生保護を目指し邁進していく所存です。

歴史ある当会をますます発展、会員増強を図るために、今年度、表彰制度(表彰規定)の導入を検討し、若い方々が更生保護にご理解を賜り会の運勢発展にご尽力願えたら幸いです。



第69回「社会を明るくする運動」

“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、2019年で69回目を迎えました。



駅頭広報活動

本年度の駅頭広報活動は荒天のため、中止となりました。7月4日の当日は残念ながら活動はできませんでしたが、各中学校・小学校の皆さん、当会会員をはじめ民生委員、更生保護女性会、育成委員会、地域の方々には準備段階よりご協力をいただきました。有難うございました。



ひまわりフェスタ

第69回社会を明るくする運動推進イベント・ひまわりフェスタが7月16日開催されました。750人も多くの参加者を迎えることができました。

また、社会を明るくする運動の駅頭広報活動がスライドショーや展示パネルで紹介され、協力した小学校・中学校に対し感謝状の贈呈が行われました。



その他にも、名寄のひまわり、苗木配布や当会による刑務製品販売、更生保護女性会によるバザー、青少年育成委員会によるバルーンアート、青少年委員協議会の活動紹介パネル展示、白バイ体験、薬物乱用防止キャンペーンカー、商店会連合会による飲食模擬店の出店など多くの団体の皆様からの協力を得て賑やかにかつ意義のあるイベントを開催することができました。

平成31(令和元)年度 主なる事業

- 元.5.31 定時総会を産業商工会館にて開催
- 元.5.31 杉並区保護司会に対し助成金を交付
杉並区更生保護女性会に助成金を交付
杉並区主催「社会を明るくする運動」に助成金を交付
- 元.7.10 「愛光女子学園」訪問

社会を明るくする運動

- 元.7.4 「駅頭広報活動」参加(荒天により中止)
- 元.7.16 「ひまわりフェスタ」参加
- 元.11.2-3「すぎなみフェスタ」参加

刊行物：会報「清流」
中学生抜け冊子「ひまわり」発行
60周年実行委員発足
(委員長 里見秀和氏)

60周年実行委員会

本年度は60周年を迎え下記のような事業を計画

- 総会：令和2年5月29日 杉並会館
- 祝賀会：令和2年5月29日 杉並会館
- 記念誌：令和2年5月発行予定
- 記念品：各会員に60周年記念品配布予定

愛光女子学園バス研修

阿佐谷三丁目町会 会長 徳田紀美子

久しぶりに雨が上がった7月8日にバス研修に参加しました。

最初に訪れた大東京総合卸売センター府中市場は50年も前に出来たそうで品揃えも多く、皆さん買い物に没頭していました。次に訪れた国立天文台では広大な土地に点在する天文台や太陽系ウォーク、資料館を見学、熱心で丁寧なガイドさんの説明で暫しの間、壮大な宇宙空間に思いを馳せました。

「愛光学園」は都市型少年院でミッション系的女子校に間違われた事もある外観で館内は明るく



清潔でプールを備え、個室は機能的に作られています。現在21名の院生が生活していま

すが職員は41名と行き届いた環境です。詐欺、傷害、窃盗、薬物の順で多いそうですが家族との折り合いの悪さが原因とか。心に闇やしこりをもった人達の心を溶かす様なきめ細かな教育をしている事が良く分かりました。居場所と出番と繋がりがとても大切で、「自分が自分でいられる場所を見つけたい」と頑張っている院生の手助けが出来たらと切におもいました。

高円寺北中央自治会役員 池川 博

自治会役員会でご案内をいただき、7月8日狛江市の「愛光女子学園」を訪問しました。保護観察協会のお仕事の一端を知る有意義な機会になりました。過ちを犯して更生する女子少年院というこの施設では12才～23才の女子が教科指導、職業指導をうけております。定員100名のところ現在21名とのことでした。非行にかかわる問題点を改善し、社会生活に適応するための能力の向上に取り組んでおります。施設は体育館、温水プール、中庭など、明るい、きれいな環境という印象を受けました。一人につき4名のsy職員(担任、副担任、専門科目など)がつき、矯正指導をされているとのことで



した。矯正教育には本人の努力とともに、職員の方々の地道な、粘り強い支えが欠かせないことであり、その尊いお仕事に心から尊敬の思いをもちました。入所者の作文、詩、ポスターなどを拝見しました。「今の私は長くて暗いトンネルの中にいます」という言葉が胸に迫ってきます。授業参観で、明るく更生に励んでいる様子を見させていだだき、ほっとしました。彼女たちの社会復帰の努力が実を結びますように切に願っております。

すぎなみフェスタ

11月2・3日の両日、桃井原っぱ公園で開催されました。NPO法人杉並区保護観察協会は杉並区保護司会、杉並区更生保護女性会、と合同で「杉並の更生保護」のブースを設置し、当会より延べ22名の会員の方々が各刑務所作業製品を販売、ほとんどの品物が初日で売れ2日間で完売となりました。

また、保護司会の方々と一緒に会場に集まった方々に「保護司」のパンフレットを1,000部と中学生向け「ひまわり」を400部ほど配布し、NPO法人杉並保護協会のリーフレットを1,000部配布しました。

当会は22名、更生保護女性会は20名程、保護司会は40名ほどの参加で大いに成果ある事業になりました。

2日間の集客数は104,000名、ブース数は170以上で杉並区の職員280名で事業運営がなされました。2日目は終了間際に少々の雨になったものの全般的に賑やかなフェスタとなりました。



理事会から

世間一般では会員名簿をあからさまにすることが良しとしない風潮です。勿論、当会も個人情報保護を第一に考え会員あてには名簿の開示を避ける考えですが、役員間では会員増強に役立てる見地から現在会計、総務で管理している名簿を会長の許可で担当役員が閲覧することを了承することとなりました。ご理解のほどよろしくお祈いします。

お問い合わせ先 166-0015 杉並区成田東5-41-7
杉並区職員会館202 更生保護サポートセンター気付
NPO法人杉並区保護観察協会 (Tel 03-5930-9098)